

平成 26 年度

附属図書館 活動報告書

東京大学附属図書館



## 目次

<b>1. 平成 26 年度の特記事項</b>	<b>1</b>
1.1 新図書館計画の推進	1
1.2 Library PressDisplay の利用促進	4
1.3 「駒場 I キャンパスにおける教育サポート情報交換会」の開催を主導（駒場図書館）	4
1.4 「初年次ゼミナール」開講に向けた準備（駒場図書館）	4
1.5 柏図書館開館 10 周年記念事業（柏図書館）	5
1.6 「柏キャンパスから東大の未来を考える～東大を先導する実験キャンパス～」（柏図書館）	7
<b>2. 研究成果の発信、資料の電子化</b>	<b>8</b>
2.1 機関リポジトリ	8
2.2 所蔵資料の電子化	8
2.3 国内古典籍電子化プロジェクトへの参画	8
2.4 平賀議総長関係資料の受け入れとデジタル化（柏図書館）	8
<b>3. 利用者サービス、ガイダンス、広報</b>	<b>9</b>
3.1 MyOPAC による文献取寄せ申込	9
3.2 レファレンス協同データベースへの登録開始	9
3.3 国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスを開始	9
3.4 「独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館と国立大学法人東京大学駒場図書館の相互利用に関する覚書」の締結（駒場図書館）	9
3.5 閲覧席での飲料利用の検討（駒場図書館）	10
3.6 無線 LAN 利用エリアの拡大（駒場図書館）	10
3.7 デジタルサイネージの活用（駒場図書館）	10
3.8 新領域創成科学研究科 学術経営委員会への報告チャネルの確保（柏図書館）	10
3.9 館内サービス環境の改善（柏図書館）	11
3.10 図書館ガイダンス、講習会等	11
3.11 オープンキャンパス 2014、柏キャンパス一般公開	12
3.12 展示会、講演会、コンサート、映画上映会など	13

<b>4. 資料の収集</b>	16
4.1 学習用図書 of 整備	16
4.2 全学資料購入集中処理システム of 着実な運用	16
4.3 全学共通経費による基盤的学術雑誌等 of 整備	16
4.4 大型コレクション	16
<b>5. 資料の管理</b>	17
5.1 目録データ of 遡及入力事業	17
5.2 自動化書庫へ of 雑誌移管 (柏図書館)	17
5.3 開架図書 of 移動	17
5.4 図書資産 of 実査	18
5.5 総合図書館改修に伴う資料 of 移転と運用	18
5.6 図書原簿 of バックアップ (柏図書館)	18
<b>6. 業務管理</b>	19
6.1 職員研修	19
6.2 友の会 (柏図書館)	19
6.3 インターンシップ	20
6.4 高校生「奉仕体験学習」 of 受入 (柏図書館)	20
6.5 「東京大学駒場図書館非常時行動マニュアル」 of 策定 (柏図書館)	20
6.6 地域連携 (柏図書館)	20
6.7 学内他部署と of 連携	20
6.8 規則改正	21
<b>7. 年間活動表</b>	22
7.1 平成 26 年度図書館活動日誌	22
7.2 平成 26 年度附属図書館会議開催一覧	25

## 全図書館室統計

1. 職員数、蔵書数、利用統計	27
2. 経年変化	28
2.1 蔵書数	28
2.2 所蔵雑誌種類数	28
2.3 資料費総額	28
2.4 入館者数（延人数）	29
2.5 館外貸出冊数	29
2.6 東京大学 OPAC 利用統計	29
2.7 附属図書館ホームページ利用統計	29
2.8 電子ジャーナルダウンロード数	30

# 1. 平成 26 年度の特記事項

## 1.1 新図書館計画の推進

### (1) 新図書館計画の着実な進展

平成 23 年度に全学事業化された後、各種の部会を設けて新図書館計画を推進するための検討を行っており、平成 26 年度も計画実施のための各種取り組みを着実に進めた。

建物計画については、平成 25 年度末に総合図書館（新館）の工事業者が確定して以降、図書館前広場の地中に埋まっていた旧図書館レンガ基礎の解体、図書館の正面玄関外階段の解体などの準備工事が進められ、12 月 11 日には「東京大学（本郷）アカデミックコモンズ（仮称）新営工事」の起工式が執り行われた。また、総合図書館（本館）の改修工事に向け、事務部が一時移転するための仮設プレハブ（共同利用棟）の設置工事が 7 月から始まり、平成 27 年 2 月下旬に移転が完了した。

一方、新図書館に求められる「教育との連携」という新たな機能を実現するための先行的な取り組みとして、学生ボランティア組織・新図書館計画 ACS（アカデミックコモンズサポーター）の企画による「ミニレクチャプログラム」を 2 回実施した。あわせて、総合図書館（新館）地下 1 階に新設予定の「ライブラリープラザ」や改修後の本館で展開すべき新しいサービスを試行するためのモデルルームとして、平成 27 年 3 月、総合図書館 1 階に「ミニレクチャールーム」を設けた。

### (2) 総合図書館・3 階天井の安全確保対策

総合図書館（本館）の耐震改修にともない、館内各所で建物の状態調査を実施したところ、3 階天井について表面のモルタルが剥離する危険性があることが判明した。12 月から平成 27 年 3 月 15 日までの間、3 階の大階段周囲にある書架へのアクセスを制限した上で、天井に防護ネットを取り付ける工事を行い、3 月 16 日に利用を再開した。

### (3) 特定基金（基金プロジェクト）

東大基金における特定基金として、平成 24 年 10 月に新図書館計画「アカデミック・コモンズ」が設置され、渉外本部と連携しながら、寄附の募集活動を行っている。

その活動の一環として、渉外本部との共催で寄付者向けのイベントを実施した。

期間	内容	参加者数
平成 26 年 10 月 23 日	東京大学基金 新図書館計画「アカデミック・コモンズ」特別セミナー 「『昭和天皇実録』について」 山内昌之名誉教授、川添善行准教授（生産技術研究所）	126 名

### (4) 広報活動

新図書館計画を学内外に広報し、イベントを通じて参加者に現在の図書館と新図書館計画への理解を深めてもらうことを目的としたトークイベントや企画展示等を、平成 26 年度も継続して実施した。

トークイベント

(開催場所： 総合図書館 1 階 洋雑誌閲覧室)

期間	内容	参加者数
平成 26 年 6 月 16 日	新図書館トークイベント 7 「戦争と平和の条件 ～いま、大学の知と教育にできること」 藤原帰一教授（大学院法学政治学研究科）、林 香里教授（大学院情報学環）	90 名
7 月 4 日	新図書館トークイベント 8 「未来をつくる大学図書館～東大の新しい学びの可能性」 菅谷明子氏（在米ジャーナリスト、ハーバード大学ニーマンジャーナリズム財団役員）	139 名
8 月 27 日	新図書館トークイベント 9 「伝統と変革:デンマーク王立図書館/コペンハーゲン大学図書館の事例から」 Charlotte Rohde 氏（デンマーク王立図書館館長顧問）	92 名
10 月 18 日	第 13 回 東京大学ホームカミングデーイベント/新図書館トークイベント 10 「東大新図書館計画と次世代アーカイブ:東大版ヨーロッパナをいかにするのか?」 高野明彦氏（国立情報学研究所コンテンツ科学研究系教授）、福井健策氏（弁護士・骨董通り法律事務所）、生貝直人特任講師（附属図書館新図書館計画推進室/大学院情報学環）	100 名
11 月 7 日	新図書館トークイベント 11 「東京大学南原繁記念出版賞 第 3 回受賞者講演会 — 新しい知の地平を描き出す」  （東京大学南原繁記念出版賞（東大出版会）受賞者の記念講演を含む） 渡辺 浩氏（法政大学教授）、藤岡俊博氏、本田晃子氏（南原賞受賞者）	38 名
平成 27 年 3 月 20 日	新図書館トークイベント 12 「『曖昧さ』について-『ボヴァリー夫人論』を例として」 運實重彦名誉教授	98 名

関連イベント

期間	内容	参加者数
平成 27 年 1 月 31 日	シンポジウム 「むすび、ひらくアジア:アジア研究図書館の構築に向けて」  主催：附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門（開催場所：福武ホール B2F 福武ラーニングシアター）	116 名
1 月 31 日	トマ・ピケティ 東大講義「21 世紀の資本」  主催:附属図書館、大学総合教育研究センター 協力：みすず書房、日経 BP 社  （開催場所：伊藤国際学術研究センター-B2F 伊藤謝恩ホール）	395 名
2 月 18 日	文学インタヴュー-第 1 回 高橋源一郎（〈現代作家アーカイブ〉by 飯田橋文学会）	118 名

	主催: 飯田橋文学会、UTCP(東京大学大学院総合文化研究科 附属共生のための国際哲学研究センター)、附属図書館 (開催場所: 福武ホール B2F 福武ラーニングシアター)	
--	--	--

## 企画展示

期間	内容
平成 26 年 6 月 13 日 ~8 月 5 日	「[知]が創る[平和] -藤原帰一と見る世界」 (開催場所: 総合図書館 1 階 ロビー、大階段下)
9 月 30 日 ~平成 27 年 1 月 21 日	本部棟展示「アカデミック・コモンズ—知のロジスティクスを再定義する」 (開催場所: 本部棟 1 階 ロビー)

## その他

期間	内容
平成 26 年 11 月 5~ 7 日	第 16 回図書館総合展(主催:図書館総合展運営委員会)ポスターセッション参加 (開催場所: パシフィコ横浜 展示ホール D)

## (5) ミニレクチャプログラム

図書館における教育のあり方を考え、図書館で学際的なテーマにふれる機会を設けることを目的に、新図書館計画 ACS (アカデミックコモンズサポーター) により「ミニレクチャプログラム」が企画、実施された。「東京大学フューチャーファカルティプログラム(FFP)」の協力を得て、FFP を修了した大学院生が講師となり、アクティブラーニングを取り入れた模擬授業を行うものである。学生と職員との共働、図書館と学内他部署 (大学総合教育研究センター) との共働が生まれ、図書館が学内に開かれた組織となるための活動として、継続的な実施を予定している。

期間	内容	参加者数
平成 26 年 6 月 27 日	ミニレクチャ①「国境なき国際政治? —模擬安保理で考える人道的介入—」講師 中村長史さん (大学院総合文化研究科国際社会科学専攻) ミニレクチャ②「超伝導が切り拓く未来 —物質科学の魅力—」 講師 河底秀幸さん (新領域創成科学研究科 物質系専攻) (開催場所: 総合図書館 1 階 講習会コーナー)	29 名
平成 27 年 2 月 5 日	オープニング「図書館から始まる!新しい学びと出会い」 ACS 吉田健人、栗田佳代子 特任准教授(東京大学大学総合教育研究センター) ミニレクチャ「知能ロボットの頭の中をのぞいてみよう」	22 名

	講師 和家尚希さん(大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻) (開催場所：総合図書館 1 階 講習会コーナー)	
--	--	--

## 1.2 Library PressDisplay の利用促進

海外新聞総合データベース「Library PressDisplay」が平成 25 年度に全学に提供開始され、総合図書館・駒場図書館・柏図書館の拠点図書館 3 館に、その視聴用として大型タッチパネルディスプレイが設置された。データベースの利用促進を図るため、駒場図書館と柏図書館で「Library PressDisplay」を使ったイベントを開催した。

## 1.3 「駒場 I キャンパスにおける教育サポート情報交換会」の開催を主導 (駒場図書館)

駒場図書館職員が中心となり、教養学部等事務部職員有志で組織した世話人会の企画により、「駒場 I キャンパスにおける教育サポート情報交換会」を開催した。これは、さまざまな組織にわたる種々の教育サポート施設・部署が存在するとともに、本学の学部教育の総合的改革が進展する駒場 I キャンパスにおいて、各施設・部署が情報共有や連携を図り、学生へのサポートを向上させることを目的とするものである。

情報交換会は 9 月 10 日に開催され、各施設・部署等の概要、現状と課題、最近の話題等が報告された。駒場図書館の報告「学習サポートを目指す駒場図書館」をはじめ報告者 15 組、参加者 61 名（教員 10 名、事務職員・技術職員等 51 名／総合文化研究科・教養学部 42 名、他の所屬者 19 名）と盛況で、好評を得た。当情報交換会の開催の主導は、図書館職員が教育支援に積極的に関わっていく姿勢の一つの現れであり、今後の継続的開催が期待される。

## 1.4 「初年次ゼミナール」開講に向けた準備 (駒場図書館)

平成 27 年度より「初年次ゼミナール文科」・「初年次ゼミナール理科」が、教養学部 1 年生文科・理科の必修授業として開講されることが決まった。いずれも研究発表・論文執筆を含む基礎的なアカデミック・スキルを早期に身につけさせ、大学における学習への能動的な動機づけを図るものである。

駒場図書館では本部情報基盤課学術情報リテラシー担当とともに、各初年次ゼミナール運営委員や教養学部附属教養教育高度化機構初年次教育部門の教員と密接に連携を持ち、授業の中で行われる検索実習の準備を進めた。また、「初年次ゼミナール文科」のオプションとして、図書館ツアー（昼休みと放課後に学生のツアースタッフが案内）を実施することとなり、その準備に協力した。

「初年次ゼミナール文科」は、従来の「基礎演習」を発展させたものであり、「初年次ゼミナール理科」は新たな試みである。理科の前期課程学生への情報リテラシー教育は従来から図書館にとって課題であったが、「初年次ゼミナール理科」の開設により、本学で提供される基本的な図書館サービスやデータベースを理科の前期課程学生が概観できるようになった。

## 1.5 柏図書館開館 10 周年記念事業（柏図書館）

自然科学系研究所が集まる柏キャンパスの拠点図書館であり、学内の自然科学系学術雑誌のバックナンバーセンター機能も担う柏図書館は、開館 10 周年を記念して「科学史」「世界結晶年」をテーマとした、講演会、サイエンスカフェ、上映会、音楽コンサート、企画展示、所蔵資料展示等、数々の記念イベントを学内外の協力を得て行った。

講演会、サイエンスカフェ等、音楽コンサート

（開催場所： 柏図書館 1 階 ）

期間	内容	参加者数
平成 26 年 4 月 22 日	第 1 回サイエンスカフェ 「磁石、磁力、磁場～魔術から現代科学への道程～」 家泰弘教授（物性研究所）	26 名
5 月 12 日	Special Event ! "World through Foreign Newspapers" / 特別イベント「外国新聞で覗く世界」 柏 IO と連携 【英語】	25 名
5 月 12 日	第 2 回サイエンスカフェ 「科学史と IEEE - 130 years of innovation and invention -」 George Ploske 氏（IEEE）IEEE, 丸善と連携 【英語】	25 名
5 月 16 日	上映会『寺田寅彦～ねえ君、不思議だと思いませんか？～』	28 名
6 月 12 日	第 14 回わくわくミニコンサート（出演 9 組 12 名）	78 名
7 月 24 日	第 3 回サイエンスカフェ 「DNA の結晶から創薬へ」 和田猛教授（東京理科大学）	26 名
9 月 26 日	第 15 回わくわくミニコンサート（出演 10 組 20 名）	91 名
10 月 24 日	東大柏ブックレビュー-LIVE! : 東大生の書評ライブ！（出場 9 名） （柏キャンパス一般公開）	37 名
10 月 25 日	「計算折紙」：開館 10 周年記念ワークショップ（柏キャンパス一般公開） 館知宏助教（総合文化研究科） 第一部：レクチャー 第二部：ワークショップ@2 階閲覧室	34 名 33 名
10 月 21～ 31 日	「東大生の本棚 2014」：学生おすすめ図書展示（柏キャンパス一般公開） （東大柏ブックレビュー-LIVE! 連動企画）	-
10 月 21～ 30 日	「リケジョの本あります」：特別資料展示（柏キャンパス一般公開） （柏キャンパス図書館室合同企画「わたしと図書館」） <各研究所の女子院生による推薦図書を紹介、柏図書館では国立女性教育会館の図書パッケージ貸出サービス（50 冊）を展示>	-
10 月 21 日～ 11 月 7 日	「科学史」：所蔵資料展示（柏市内 4 大学連携展示）（柏キャンパス一般公開）	-
10 月 24 日	「柏キャンパス部局紹介」：映像上映（柏キャンパス一般公開）	-

10月25日	「東大オケ有志によるミニコンサート」：コンサート (新領域創成科学研究科) (柏キャンパス一般公開)	-
11月25日	第4回サイエンスカフェ 「サイエンス2.0と学術コミュニケーションツールの変遷」 宮入暢子氏 (ネイチャー・パブリッシング・グループ)	10名
12月12日	第16回わくわくミニコンサート@F Sホール (出演9組15名)	138名
平成27年 1月22日	第5回サイエンスカフェ 「富岡製糸場の技術史」 鈴木淳教授 (人文社会系研究科)	26名
2月13日	第6回サイエンスカフェ 「雑誌でたどる戦前・戦中・戦後の科学」 岡本拓司准教授 (総合文化研究科)	20名
3月23日	第7回サイエンスカフェ 「紙の地図とデジタル地図」 小口 高教授 (空間情報科学研究センター)	36名

#### 企画展示

(開催場所： 柏図書館1階)

期間	内容
平成26年 4月～10月	第1回企画展示「かたち - 折紙、鋳物 -」駒場博物館提供 (世界結晶年、地質の日支援) 柏キャンパス一般公開日 (10月24～25日) に、ワークショップ「計算折紙」開催のため、10月まで会期を延長した
7月～9月	第2回企画展示「音楽と歩む」国立女性教育会館提供
平成27年 1月～3月	第3回企画展示「雑誌でたどる戦前・戦中・戦後の科学」 (会期：平成27年2月9日～5月29日)
3月～	常設展示「日本図大皿」

#### 所蔵資料の展示等

(開催場所： 柏図書館2階)

期間	内容
平成26年 4月	「磁石、磁力、磁場」第1回サイエンスカフェ連動企画 図書展示
5月	「寺田寅彦」上映会連動企画 図書展示
6月	「音楽と科学」わくわくミニコンサート連動企画 図書展示
7月	「DNAの結晶から創薬へ」第3回サイエンスカフェ連動企画 図書展示

9月	「音楽と科学2」わくわくミニコンサート連動企画 図書展示
10月	東大生の本棚 2014：学生おすすめ図書展示（東大柏ブックレビューLIVE!連動企画）
10月	リケジョの本、あります（柏キャンパス図書館室合同企画「わたしと図書館」連動企画）
11月	「雑誌 Nature」第4回サイエンスカフェ連動企画 図書展示
平成27年 1月	「富岡製糸場の技術史」第5回サイエンスカフェ連動企画 図書展示
2月	「雑誌でたどる戦前・戦中・戦後の科学」第6回サイエンスカフェ連動企画 図書展示
3月	「地図」第7回サイエンスカフェ連動企画 図書展示

## 雑誌掲載

### 掲載記事

東京大学柏図書館における「世界結晶年」企画 ―開館10周年記念と連携して―  
日本結晶学会誌. Vol. 56 (2014), No.6, p.366-367

## 1.6 「柏キャンパスから東大の未来を考える～東大を先導する実験キャンパス～」（柏図書館）

3/4（水）に開催されたシンポジウム「柏キャンパスから東大の未来を考える～東大を先導する実験キャンパス～」において、柏図書館長より「リサーチ commons を目指す柏図書館」と題して、柏図書館の将来計画を説明した。

\* 柏キャンパス ニュース & トピックス：シンポジウム開催について

[http://www.kashiwa.u-tokyo.ac.jp/topic\\_Campus/20150304/topic20150304.html](http://www.kashiwa.u-tokyo.ac.jp/topic_Campus/20150304/topic20150304.html)

## 2. 研究成果の発信、資料の電子化

### 2.1 機関リポジトリ：東京大学学術機関リポジトリ（UTokyo Repository）

全体で 807 件の登録を行い、累計 31,628 件に増加している。

紀要・学内刊行物を中心に登録しており、現在 71 誌 23,443 件を公開中である。既に公開済みの紀要類に最新号を追加登録をしている。

リポジトリに登録された論文等の平成 26 年度のダウンロード利用件数は 4,608,492 件に達し、本学の研究成果の発信に貢献している。

また、新たにリポジトリのバックアップ用サーバーを柏図書館に設置した。

### 2.2 所蔵資料の電子化

情報システム部情報基盤課学術情報チームデジタル・ライブラリ担当と大学院工学系研究科との連携・協力により、鉾山絵図・絵巻コレクションを公開した。このデータベースは、工学・情報理工学図書館が所蔵する佐渡相川金銀山、閉伊郡金沢村金山、先大津阿川村の絵巻、敷岡絵図、振矩絵図などを画像データにしたものである。（平成 26 年 7 月 28 日公開）

また、既に公開済みの貴重資料のうち、観世アーカイブと平賀譲デジタルアーカイブのウェブサイトの更新や大日本海史編纂資料と富士川文庫のデータ追加を行った。

総合図書館所蔵の万暦版大蔵経(嘉興蔵)の画像の一部を試験公開した。電子化・公開は大蔵経研究推進会議の支援の下、SAT 大蔵経テキストデータベース研究会によって今後数年をかけて行われる予定である。なお、嘉興蔵は明末の万暦年間に開板された私版の大蔵経である。



### 2.3 国内古典籍電子化プロジェクトへの参画

国文学研究資料館を中心とした事業「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」に国内拠点大学として参画し、日本語の歴史的典籍データベースの構築に向けて、国内古典籍の電子化および書誌情報の整備等について引き続き検討を行った。

### 2.4 平賀譲総長関係資料の受け入れとデジタル化（柏図書館）

新規に受け入れた平賀譲総長関係の講義ノート等資料について、ホコリ取り、防カビ・殺虫の処理を施すとともに、資料整理のための簡易目録を作成した。また、その一部を電子化した。今後も逐次資料を電子化し、公開することを予定している。

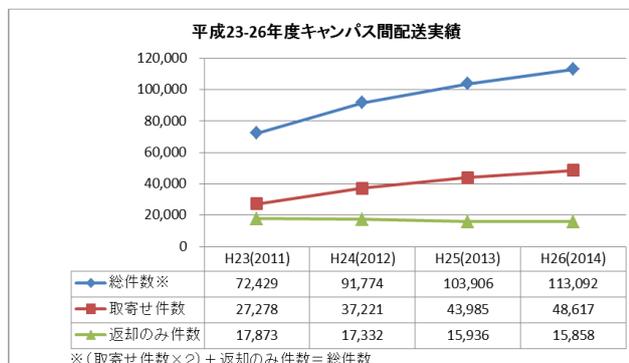
## 3. 利用者サービス、ガイドンス、広報

### 3.1 MyOPAC による文献取寄せ申込

平成 23 年 3 月から、利用者自身が直接所蔵館に図書を取寄せ申込みをすることができるようになったが、このサービスは年々利用が増加している。

学内図書館・室間の取寄せ冊数は、前年度の約 44,000 冊から約 48,000 冊に増加、取寄せのほか、図書の返送のみの利用も含めると約 113,000 冊の利用に上り、学内の図書資源共有に不可欠なサービスとして定着している。

なお、原則としてホームライブラリと同じキャンパス内にある図書館・室に対する文献取り寄せサービスの申込は受け付けていないが、直接来館が困難な障害のある利用者や、演習林等の遠隔地附属施設所属者に対して、依頼先がホームライブラリと同一キャンパス内であっても取寄せサービスを行っている。



### 3.2 レファレンス協同データベースへの登録開始

学術情報リテラシー教育部会では、昨年度参加が了承された国立国会図書館「レファレンス協同データベース」への ASK に蓄積されたレファレンス事例の入力を開始し、52 件を一般公開した(12 月 26 日)。今後も各部局図書館・室の協力を得て、継続的に登録・公開していく予定である。なお、公開後半年間での総閲覧数は 11,596 回であった。

### 3.3 国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスを開始

平成 24 年度の著作権法改正により、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難なものを全国の図書館に送信できるようになった。実際のサービスは平成 26 年 1 月に始まり、100 万点を超える資料がインターネットを経由して利用可能になっている。附属図書館では平成 26 年 5 月に総合図書館が利用承認を受けたほか、現在、駒場図書館、柏図書館を含む 10 を超える図書館・室が本サービスに参加し、送信された資料の閲覧・複写サービスを学内の利用者に提供している。

### 3.4 「独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館と国立大学法人東京大学駒場図書館の相互利用に関する覚書」の締結（駒場図書館）

平成 27 年 2 月 20 日、標記の覚書の署名式がアジア経済研究所図書館で行われ、平成 27 年 4 月 1 日から発効することとなった。この覚書により、両館の利用者は、相手館に来館して館外貸出サービスを受けられ

ようになる。大学院総合文化研究科・教養学部の教職員、学生等が対象者となり、関連分野の研究者、学生にとってメリットが期待される。

なお、アジア経済研究所図書館との覚書締結は、本学では経済学図書館に続き 2 館目となる。

### 3.5 閲覧席での飲料利用の検討（駒場図書館）

駒場図書館では 1 階ラウンジに限って飲食を可としているが、平成 23 年度以降は夏季の期間、節電中の熱中症予防のため閲覧席での飲料利用を許可してきた。平成 26 年度は秋季以降も閲覧席での飲料利用許可を試行した。その結果、近年検討を続けた結論として、平成 27 年度からは通年で閲覧席での飲料利用を許可することを決定した。閲覧席（1 階メディアパーク・各階 OPAC 席を除く）において、蓋付き容器に入った飲料のみを許可するものである。

### 3.6 無線 LAN 利用エリアの拡大（駒場図書館）

12 月 10 日、駒場図書館 3 階対面朗読室に無線 LAN アクセスポイント移設工事を行った。これにより視覚障害者が学習する際、全学無線 LAN サービス（utroam）を容易に利用できるようになった。

また、3 月 10 日、無線 LAN アクセスポイント 6 台の増設工事（倍増）が行われ、3 月下旬よりサービス開始となり、館内の utroam 利用可能エリアが拡大した。従来も館内閲覧席の主要なエリアでは utroam が利用できたが、これまで利用ができなかった地下 2 階や電波が不安定だった北側閲覧席エリアなど、基本的にすべての閲覧席で utroam が利用できるようになった。

### 3.7 デジタルサイネージの活用（駒場図書館）

8 月 25 日、駒場図書館玄関にデジタルサイネージを設置した。利用者への広報に約 10 種のポスターを常時掲載し、音声メッセージや動画も活用している。防犯啓発の動画メッセージは学生サークルの協力を得て作成し、盗難予防に一定の効果を上げている。

### 3.8 新領域創成科学研究科 学術経営委員会への報告チャネルの確保（柏図書館）

メールニュース（日本語・英語）の一斉通知を、毎月実施した。新領域創成科学研究科 教授会（4 月、11 月）、新領域創成科学研究科 学術経営委員会（毎月 2 回）へ、柏図書館からのお知らせを定期的に報告した。

新領域創成科学研究科及び柏図書館の連携協議会を開催し、柏図書館の将来計画について意見交換を行った。また、年度末の新領域創成科学研究科学術経営会議で、平成 26 年度柏図書館事業計画の進捗を報告した。

### 3.9 館内サービス環境の改善（柏図書館）

学部教育の総合的改革に関わる国立大学改革推進補助金により、メディアホールの映像と音響設備を更新した。加えて、メディアホールの様子をコミュニティサロンに中継する設備を新規導入し、講義などの環境改善をすすめた。また、2階閲覧室において、CNN/BBCの放映サービスを開始した。

### 3.10 図書館ガイダンス、講習会等

新入生や留学生などを対象に、図書館案内や、資料検索のガイダンス等を実施した。

#### (1) 総合図書館

平成26年度は、新規利用者等を対象に以下の説明会を実施した。内容は、①図書館利用案内、②館内・書庫案内、③本や論文の探し方、である。なお、③は4月1日から本運用を開始したTREE（UTokyo Resource Explorer）を中心に資料の探し方や電子ジャーナルの自宅からのアクセス方法などを紹介するもので、実施に当たっては、情報システム部情報基盤課学術情報チーム学術情報リテラシー担当の全面的な協力を得て実施している。

留学生に対しては、引き続き各研究科で留学生オリエンテーションを実施する部署と連携し、以下のとおり日本語または英語による図書館利用説明を行った。なお、研究科のオリエンテーション全体の日程短縮のため、秋季の公共政策大学院留学生オリエンテーションは中止となった。また、農学系は学部全体のガイダンスがなく、農学生命科学図書館で独自のオリエンテーションを開催していることから、総合図書館利用案内は実施しなかった。

期間	内容	参加者数
平成26年 4月3～ 17日	日本語コース 4回、英語コース 2回	77名
春季	留学生オリエンテーション（人文、工・情理） 2回	35名
秋季	留学生オリエンテーション（人文、工・情理、自由参加2回） 4回	46名
6月18日、 11月20日	「国連情報の探し方入門」（2回）	8名

#### (2) 駒場図書館

文系1年生の必修授業「基礎演習」のうち希望する49クラス（全体の89%）で図書館ガイダンスを行ったほか、学部・大学院の新入生向け図書館ガイダンスをそれぞれ行っている。また、授業での文献検索ガイダンスや専門データベース講習会を随時開催した。

期間	内容	参加者数
春季	学部新入生向け図書館ガイダンス 7回	51名
春季	大学院新入生向け図書館ガイダンス 3回	22名
春季	基礎演習授業（A.図書館ツアー＋検索実習コース） 42回	986名

	(バーチャルツアーを含む)	
春季	基礎演習授業 (B.検索実習のみコース) 6回 (7クラス) (情報基盤センターに出張講習依頼)	168名
(随時)	英語他の授業等での文献検索ガイダンス 4回	48名
(随時)	専門データベース講習会 6回 (情報基盤センターと共催)	51名

### (3) 柏図書館

新任職員、新入生が入る時期を重点的に、新領域創成科学研究科を中心に講習会等を実施した。

また、キャリアサポート室と連携して、「2014年度 博士・ポストドクター向け キャリアセミナー」の中で、企業情報データベース「eol」を紹介した。

期間	内容	参加者数
春季・秋季	新領域創成科学研究科 新入生ガイダンス 4回	435名
春季・秋季	新領域創成科学研究科 留学生ガイダンス 2回	115名
春季・秋季	柏図書館ライブラリーツアー 15回	48名
春季・秋季	データベース講習会 8回	66名
春季・秋季	英語セミナー 2回 (新領域、柏 IO 連携)	13名
春季・秋季	ECCS 講習会 8回 (情報基盤センターとの共催)	195名
秋季	英語論文セミナー2014 1回 (中継)	22名

## 3.11 オープンキャンパス 2014、柏キャンパス一般公開

平成 26 年度も、本郷キャンパスのみで 2 日間、オープンキャンパスが開催された。

### (1) 総合図書館

オープンキャンパス 2014 に、「参加自由企画」として参加し、来訪者への館内公開を行った。あわせて高校生の来訪に配慮した展示と、書庫内を学生が案内するツアーを開催し、2 日間で約 8,200 名の見学、825 名のツアー参加があった。(平成 25 年 5,300 名、平成 24 年 3,900 名)

期間	内容	参加者数
平成 26 年 8 月 6~7 日	資料展示「ほんものあります：教科書のあの本がここに！」	約 8,200 名
	総合図書館館内公開 (1、3 階閲覧室)	
	東大生が案内する書庫ツアー (54 回実施)	

## (2) 柏図書館

柏キャンパス一般公開に参加し、以下の事業を行ったほか、来訪者への館内公開を行った。今年度は特に、東大院生が説明する「ジュニア TA の説明グループ」を作り、企画展示「かたち～折紙～」で、柏図書館 2 階エントランス前に展示した「剛体折紙」を、ジュニア TA が来場者に説明した。

期間	内容	参加者数
平成 26 年 10 月 24～ 25 日 (柏図書館内に総 合案内を設置)	<柏キャンパス一般公開：柏図書館テーマ「図書館にのこる科学の足あと」>	約 8,000 名
	「柏キャンパス部局紹介」：映像上映	-
	「東大柏ブックレビューLIVE!」：東大生の書評ライブ！ 10/24 新領域創成科学研究科、物性研究所、宇宙線研究所、カブリ数物連携宇宙研究機構、大気海洋研究所の院生等 9 名出場 [定員 25 名]	37 名
	「計算折紙」：開館 10 周年記念ワークショップ 10/25 第一部：レクチャー 第二部：ワークショップ	34 名 33 名
	「リケジョの My 研究生活」：パネル展示 (柏キャンパス図書館室合同企画「わたしと図書館」)	約 400 名
	資料展示「東大生の本棚 2014」：学生おすすめ図書展示 (東大柏ブックレビューLIVE!連動企画)	-
	「リケジョの本あります」：特別資料展示 (柏キャンパス図書館室合同企画「わたしと図書館」) <各研究所の女子院生による推薦図書を紹介、柏図書館では国立女性教育会館の図書パッケージ貸出サービス (50 冊) を展示> (東京大学女子中高生理系進路支援と連携)	-
	「科学史」：所蔵資料展示 (柏市内 4 大学連携展示)	-
	「東大オケ有志によるミニコンサート」：コンサート (新領域創成科学研究科)	-



### 3.12 展示会、講演会、コンサート、映画上映会など

平成 26 度は、以下の展示会等を実施した。なお、総合図書館で開催された附属図書館特別展示の内容は、図書館ホームページの「電子展示」ページに掲載して公開した。また、東京大学出版会主催の東京大学南原繁記念出版賞表彰式を総合図書館にて開催し、出版会との連携を深めた。

#### (1) 総合図書館

期間	内容
平成 26 年 5 月 9～ 21 日	日・EU フレンドシップウィーク国際資料室展示 「Europeana : 欧州デジタル文化遺産ポータル」(総合図書館 3 階ホール)
8 月 6～7 日	資料展示「ほんものあります：教科書のあの本がここに！」 (総合図書館 3 階ホール) 参加数 約 8,200 名
10 月 16 日 ～11 月 26 日	平成 26 年度特別展示 「総合図書館 コレクションへの招待状－世界中から集まった貴重な資料たち－」(総合図書館 3 階ホール) 参加数 約 1,200 名 ※ホームカミングデー当日(10 月 18 日)は、135 名来訪
平成 27 年 3 月 20 日	第 5 回東京大学南原繁記念出版賞表彰式 第 4 回「東京大学南原繁記念出版賞」贈呈式 (総合図書館 1 階洋雑誌閲覧室)



#### (2) 駒場図書館

期間	内容
平成 26 年 4 月 25 日	駒場図書館トークイベント「外国新聞で拓く世界 グローバル化と大学図書館の将来」(駒場図書館 1 階ラウンジ)
10 月 18～ 26 日	企画展示「越境するヒロシマーロベルト・ユンクと原爆の記憶」関連資料展 (駒場図書館 1 階展示ロビー) 参加者数 190 名
11 月 17～ 30 日	駒場図書館職員自主企画展示「蝶と昆虫少年」(駒場図書館 1 階展示ロビー)



なお、前年度に定めた展示ケース利用制度により、学生団体の展示ロビー利用が 5 件 (計 72 日間) あり、サークルや研究活動を紹介する展示が利用者の注目を集めた。

### (3) 柏図書館

柏図書館からインターキャンパス、イントラキャンパスの連携環境を作る、MLA 連携[博物館(Museum)・図書館(Library)・文書館(Archives)]の小さいモデルを作るなど、企画に平成 27 (2015) 年度以降のイベントモデルとなるコンセプトを盛り込み、展示年間スケジュールに落とし込んだ。

期間	内容	参加者数
平成 26 年 4 月～10 月	第 1 回企画展示「かたち -折紙、鉱物-」 駒場博物館提供 (世界結晶年、地質の日支援) 柏キャンパス一般公開日 (10 月 24～25 日) に、ワークショップ「計算折紙」開催のため、10 月まで会期延長	-
5 月 16 日	上映会『寺田寅彦～ねえ君、不思議だと思いませんか?～』	28 名
6 月 12 日	第 14 回わくわくミニコンサート (出演 9 組 12 名)	78 名
7 月～9 月	第 2 回企画展示「音楽と歩む」 国立女性教育会館提供	-
9 月 26 日	第 15 回わくわくミニコンサート (出演 10 組 20 名)	91 名
12 月 12 日	第 16 回わくわくミニコンサート@ F S ホール (出演 9 組 15 名)	138 名
平成 27 年 1 月～3 月	第 3 回企画展示「雑誌でたどる戦前・戦中・戦後の科学」 (会期: 平成 27 年 2 月 9 日～5 月 29 日)	-
3 月～	常設展示「日本図大皿」	-

第 1 回 柏図書館企画展示

**かたち -折紙、鉱物-**  
駒場博物館所蔵資料展

平面から生まれる  
無限のかたち

期間: 2014 年 4 月 1 日(火)～6 月 30 日(月)  
平日 9:00～21:00 (土曜日は学内者 友の会会員のみ)

場所: 東京大学柏図書館  
1 階 コミュニティサロン 展示スペース/2 階 閲覧室前

主催: 東京大学柏図書館 (lib@lib.u-tokyo.ac.jp)  
Tel: 04-7136-4220 E-mail: kashiwar@lib.u-tokyo.ac.jp

協力: 東京大学駒場博物館 (lib@lib.u-tokyo.ac.jp)  
東京大学駒場図書館 (lib@lib.u-tokyo.ac.jp)

The 14th  
**WakuWaku  
Mini  
Concert**

2014.12.12 (Fri)  
17.30 開演

今回は  
柏キャンパス 環境棟 1F  
FSホール

入場無料 予約不要

Silent Night (Gruber)  
間奏曲 (ビゼー)  
主人の望みの喜びよ (パッパ)  
もろびとこぞりて (全員で合唱)  
他15曲

主催: 東京大学柏図書館  
後援: 東京大学柏図書館協会の会  
お問い合わせ先  
wakuwaku.music.kw@gmail.com 世話人: 和田 誠 (東京大学新領域)

第 14 回 柏図書館上映会

**寺田寅彦**  
科学者の目と日常の観察

「天才は忘れ去る疎  
雑なという有名な電  
報を破した天才物理  
学者、寺田寅彦。  
科学の目で見た日常  
の観察がどのように  
見えるか、『茶室の  
第1金平様』(藤森  
桂太郎)から寺田彦  
独自の観察眼を映像  
化した作品です。」

日時: 2014 年 5 月 16 日(金) 18:00～19:30  
場所: 東京大学柏図書館 1 階メディアホール  
(予約不要・入場無料)

主催: 東京大学柏図書館  
Tel: 04-7136-4220 E-mail: kashiwar@lib.u-tokyo.ac.jp

## 4. 資料の収集

### 4.1 学習用図書整備

平成 20 年度から恒常的に措置されている学習基盤経費により、今年度は総合・駒場・柏図書館で合計 13,536（総図：6,551 冊、駒場：4,867 冊＋電子ブック 431 タイトル、柏：1,687 冊）冊の学習用図書を購入した。図書の選定に際しては、教員からの推薦、図書館職員による選定のほか、学生自身の観点を生かすため、ジュニア TA による選書を実施している。また、留学生向けの資料購入も別途行っており、総合図書館では 132 冊、柏図書館では洋書を中心に 42 冊の図書を購入した。

また、柏図書館では、電子ブックトライアルによる選書を試行した。

### 4.2 全学資料購入集中処理システムの着実な運用

経費節減と事務の効率化を図ることを目的として、図書資料を全学的に共同購入するシステムを平成 16 年度から運用している。第 1 ステージ（図書館が購入している図書資料）と第 2 ステージ（各部局の会計担当が購入している消耗品扱いの図書資料）をあわせた平成 26 年度の取扱総額は、約 3 億 2,000 万円であり、約 1,300 万円の図書購入費を節約することができた。

### 4.3 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備

平成 18 年度に学内施策として合意された「全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備」の制度は、平成 24 年度から平成 27 年度までの第 2 期に入っている。この制度に基づき、国内誌・外国雑誌(冊子) 5,626 タイトル、電子ジャーナル 9,097 タイトル、データベース 70 点を契約し、学習・教育研究活動に必要な学術情報を安定的に供給した。これらの契約にかかる事務処理は総合図書館が一括して執り行い、学内の契約・支払い業務の効率化も同時に図っている。

なお、今年度は、平成 28 年度から始まる第 3 期に向けて対象資料に係る調査を実施し、予算規模や資料選定方針等を検討した。

### 4.4 大型コレクション

全学共通経費の大型コレクション収集枠を利用して、次の資料を整備した。

- (1) ProQuest Historical Newspapers : Chinese Newspapers Collection (1832-1953)  
(オンライン版 中国英字新聞コレクション)
- (2) 19 世紀コレクション アーカイブ 7 : 科学・技術・医学の歴史  
(NCCO (Nineteenth Century Collection Online) Archives 7)
- (3) Smithsonian Collections Online World's Fairs and Expositions : Visions of Tomorrow  
(スミソニアン・コレクション・オンライン 国際博覧会 : 明日のビジョン)

## 5. 資料の管理

### 5.1 目録データの遡及入力事業

#### (1) 全学遡及入力計画

附属図書館では、オンライン蔵書検索システム（OPAC）が導入される以前の紙の目録カードで整理されていた全学の図書について、遡及的に目録データを入力することによって、オンラインで検索できるようにする事業を10年計画で進めている。

平成26年度は第2期全学遡及入力計画の最終年次で、総合図書館及び法学部（明治新聞雑誌文庫を含む）、工学系研究科、総合文化研究科の一般図書のほか、総合図書館、文学部、東洋文化研究所所蔵の和古書・漢籍の入力を実施した。合計で54,450冊の目録作成を目標とし、約61,100冊（うち総合図書館は約18,400冊）のデータ入力を達成した。

#### (2) 製本雑誌等の遡及入力事業

附属図書館では総合図書館改修工事の準備作業として、平成24年度から3年計画で総合図書館が所蔵する未登録の製本雑誌等の遡及入力を実施した。平成26年度は和雑誌・国際資料・学位論文等約72,000冊を入力し、3年間で合計約18万冊の遡及入力を行い、予定どおり事業を完了した。

### 5.2 自動化書庫への雑誌移管（柏図書館）

今年度は総合図書館、医学、工学(5)、理学(3)、農学生命科学、東文研、物性研、大海研の14部局図書館・室から、自然系学術雑誌のバックナンバー9,595冊を、12月11～22日に移管し、自動化書庫に収納した。現在、自動化書庫には合計約347,000冊が収納され、PDF閲覧サービスを通じて全学の利用に供されている。

なお、12月1～3日で、自動化書庫の管理機他の入替を実施した。

### 5.3 開架図書の移動

#### (1) 総合図書館

書架狭隘化解消のため、利用が少ない図書のうち、最近数年間に貸出実績のない自然科学系の和書を中心に、約1,000冊を地下書庫へ移動した。またこれらのうち、重複や著しい汚損・破損のある図書については除籍手続を開始した。今後も同様の計画を実施し、継続して閲覧環境の改善を図る予定である。

#### (2) 駒場図書館

平成16年3月31日までに受け入れた3・4階の開架図書（大型図書を除く和書）、2階の文庫・新書類について、平成23年4月1日以降の貸出が0回であるもの2,485冊を移動し、開架スペースを確保した。移動先は、出版年が平成2（1990）年までの図書は保存書庫、平成3（1991）年以降の図書は地下1・2階の集密書架である。

## 5.4 図書資産の実査

### (1) 総合図書館

総合図書館の図書資産実査は、10年で全資料を一巡する計画で順次実施している。計画の最終年度である平成26年度は、前年度に前倒しで目録入力済資料の実査を完了したため、遡及入力による確認（図書18,432冊、製本雑誌・学位論文等71,808冊）のみを行った。また、昨年度の不明資料36冊（書庫内和書）の再調査を併せて実施した結果、22冊については依然不明であったため、亡失資料として除籍手続を行った。

### (2) 駒場図書館

地下2階集密書架の洋書（102,940冊）及び保存庫の和書（45,135冊）、合計148,075冊を対象とし、9月に実施した。その結果、地下2階集密書架の洋書に83冊、保存庫の和書に13冊、合計96冊の不明資料があった。不明資料は平成27年度に再調査する。また、昨年度の不明資料33冊（地下1階集密書架）の再調査を併せて実施した結果、19冊が依然不明であったが、後日発見される可能性があるため、当面除籍手続は行わない。

### (3) 柏図書館

平成17年3月より平成26年10月までに資産登録した開架図書（53,123件）を対象に、11月26日から12月22日にかけて現物確認を行い、12件が未確認であった。未確認資料は、平成27年度に再調査する。昨年度の実査では不明資料がなかったため、再調査は実施しなかった。

## 5.5 総合図書館改修に伴う資料の移転と運用

### (1) 未製本雑誌コーナー資料の一時移転

平成27年度から総合図書館(本館)の改修工事開始に備え、地下の未製本雑誌コーナーの資料を一時的に館外に移転した。

### (2) 館外一時移転資料の運用

平成26年度までに館外に移転した資料のうち、学内で保管している資料を、柏図書館、数理科学研究科図書室、先端科学技術研究センター図書室の支援により、学内者の利用に供している。

### (3) 移転資料の管理

移転先の施設には、除湿機を設置し、Webの温湿度遠隔監視システムによってモニターし、資料保管環境に異常のないことを確認している。

## 5.6 図書原簿のバックアップ（柏図書館）

附属図書館が所蔵する資料の管理簿である「図書原簿」のバックアップとして、CD271枚(画像270枚、エクセル1枚)を、柏図書館で保管することとした。

## 6. 業務管理

### 6.1 職員研修

附属図書館研修プログラムとして、業務に必要な知識を習得し、業務を効率化・省力化するためのスキルを身に付けた人材を効果的に育成していくため、業務のニーズにあった目的別研修メニューを実施した。

#### (1) 図書系初任者（若手職員）研修

新規採用図書職員等を対象として、図書館業務とサービスを行うために必要な基礎知識を修得させるための研修を行った。（9月16日～17日実施、2名受講）

#### (2) 業務研修・施設見学会

期間	内容	参加者数
平成 26 年 7 月 4 日	「菅谷明子さんと語る：新しい大学と学びの支援」 講師 菅谷明子氏、赤井邦光氏、府川智行氏、永友敦子氏	15 名
9 月 17 日	柏キャンパス図書館・室見学会	14 名
10 月 21 日	「相手を不快にさせない対応を学ぶ ～図書館窓口対応研修～」 講師 青木理子氏	26 名
10 月 29 日	「レファレンス業務スキルアップ講座」 講師 濱田久美子氏	13 名
11 月 18 日 12 月 22 日	Special Seminar for UTokyo Librarians 2014: 「ネット時代の新たな情報提供方法：オンラインレファレンスと図書推薦を例に」 講師 辻 慶太氏	6 名
平成 27 年 1 月 27 日	「東大図書館ラウンド・トーク ～図書館職員がいま皆で考えたいこと～」 スピーカー 附属図書館職員有志（立原ゆり氏、古島 唯氏、松原 恵氏）	11 名
2 月 21 日	附属図書館職員活動報告会「学術情報サービスにおけるユーザー理解：平成 26 年度学術情報システム総合ワークショップ参加報告」 講師 中山昌也氏	13 名
3 月 9 日	「東京大学附属図書館のあゆみ ～歴史を知り、未来を考える～」 講師 関川雅彦氏	53 名

### 6.2 友の会（柏図書館）

柏図書館友の会は、柏図書館の活動支援や会員相互、及び柏図書館職員との交流の促進を図ることを目的として、平成 20 年度に発足した。理事会を平成 27 年 3 月 19 日、第 6 回総会を 5 月 15 日に開催し、

会長その他の役員や事業計画が承認された。平成 27 年 3 月 31 日現在の一般会員（個人）は 315 名である。

第 16 回わくわくミニコンサート（12 月）では、柏図書館職員、学生スタッフ、友の会ボランティアとの共同運営を試行した。

## 6.3 インターンシップ

大学図書館への就職を志望する大学生をインターンシップとして受入れ、実務研修を実施した。（9 月 2 日～13 日実施、1 大学 2 名受入）

## 6.4 高校生「奉仕体験学習」の受入（駒場図書館）

都立高校 1 学年「総合的な学習の時間」の中で実施している教科「奉仕」の校外活動として、サービス業務を中心に体験する機会を提供した。（8 月 1 日、4 日実施、1 高校 2 名受入）

## 6.5 「東京大学駒場図書館非常時行動マニュアル」の策定（駒場図書館）

駒場図書館の非常時に職員一人一人が的確に行動できるように、図書館で起こりうる「非常事態」を想定できる限り網羅し、「非常時行動マニュアル」として 1 冊にまとめた。職員全員に配布し、常に手元において活用できるようにするとともに、毎年見直し、必要に応じて更新していく予定である。

## 6.6 地域連携（柏図書館）

### （1）図書館見学バスツアーとビブリオバトル

柏図書館は、柏市立図書館並びに柏市内 3 大学と連携して、市マイクロバスを利用した市民向けの「四大学図書館見学バスツアー」、及び大学生を中心に若年層への読書支援を目的とした「知的書評合戦（ビブリオバトル）」に参加した。

### （2）中学生職場体験の受入

柏市内の市立中学校からの中学生職場体験を受け入れ、「生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について、体験したり、働く人々と接したりする学習活動」の場を提供した。

## 6.7 学内他部署との連携

総合図書館、駒場図書館、柏図書館では、東京大学基金の「古本募金 Books for NEXT」と連携し、来館者からの古本寄付を積極的に募集している。

## 6.8 規則改正

附属図書館では、新図書館計画で掲げている理念を機能として実現するために高度の専門性を有する教員組織が不可欠であることから、図書館に研究部門を設置することとなり、図書行政商議会及び科所長会議での了承を受け、「東京大学附属図書館基本規則」の一部改正を行った。

また、駒場図書館では、平成 27 年度からの学事暦変更、アジア経済研究所図書館との相互利用に関する覚書の発効に対応して、利用規則の一部改正を行った。

## 7. 年間活動表

### 7.1 平成 26 年度図書館活動日誌

実施日	活動内容
平成 26 年 4 月 1 日 ～10 月 31 日	第 1 回企画展示「かたち – 折紙、鉱物 –」駒場博物館提供（世界結晶年、地質の日支援）（柏図書館 1 階展示コーナー）
4 月 3～17 日	総合図書館オリエンテーション
4 月 6 日 ～7 月 16 日	「音楽と科学」わくわくミニコンサート連動企画 図書展示（柏図書館 2 階）
4 月 15 日 ～5 月 15 日	「磁石、磁力、磁場」第 1 回サイエンスカフェ連動企画 図書展示（柏図書館 2 階）
4 月 16～26 日	図書館業務システム講習会（総合図書館 1 階講習会コーナー）
4 月 22 日	第 1 回サイエンスカフェ「磁石、磁力、磁場～魔術から現代科学への道程～」（柏図書館コミュニティサロン）
4 月 25 日	駒場図書館トークイベント「外国新聞で拓く世界 グローバル化と大学図書館の将来」（駒場図書館 1 階ラウンジ）
5 月 9～21 日	日・EU フレンドシップウィーク国際資料室展示「Europeana：欧州デジタル文化遺産ポータル」（総合図書館 3 階ホール）
5 月 12 日	Special Event！"World through Foreign Newspapers"／特別イベント「外国新聞で覗く世界」（柏 IO と連携）【英語】（柏図書館コミュニティサロン）
5 月 12 日	第 2 回サイエンスカフェ「科学史と IEEE – 130 years of innovation and invention -」（柏図書館コミュニティサロン）
5 月 16 日	上映会『寺田寅彦～ねえ君、不思議だと思いませんか？～』（柏図書館メディアホール）
5 月 16 日 ～6 月 11 日	「寺田寅彦」上映会連動企画 図書展示（柏図書館 2 階）
6 月 12 日	第 14 回わくわくミニコンサート（柏図書館メディアホール）
6 月 13 日 ～8 月 5 日	「「知」が創る「平和」-藤原帰一と見る世界」（総合図書館 1 階 ロビー、大階段下）
6 月 16 日	新図書館トークイベント 7 「戦争と平和の条件 ～いま、大学の知と教育にできること」（総合図書館 1 階洋雑誌閲覧室）
7 月 1 日 ～9 月 30 日	第 2 回企画展示「音楽と歩む」国立女性教育会館提供（柏図書館コミュニティサロン）
7 月 4 日	新図書館トークイベント 8 「未来をつくる大学図書館～東大の新しい学びの可能性」（総合図書館 1 階洋雑誌閲覧室）

7月17日 ～9月18日	「DNAの結晶から創薬へ」第3回サイエンスカフェ連動企画 図書展示（柏図書館2階）
7月24日	第3回サイエンスカフェ「DNAの結晶から創薬へ」（柏図書館コミュニティサロン）
8月6～7日	オープンキャンパス2014（本郷） 館内見学・書庫ツアー及び所蔵資料展示（総合図書館）
8月27日	新図書館トークイベント9「伝統と変革:デンマーク王立図書館/コペンハーゲン大学図書館の事例から」（総合図書館1階洋雑誌閲覧室）
9月19日 ～10月20日	「音楽と科学2」わくわくミニコンサート連動企画 図書展示（柏図書館2階）
9月26日	第15回わくわくミニコンサート（柏図書館メディアホール）
9月30日 ～平成27年 1月21日	本部棟展示「アカデミック・コモンズ—知のロジスティクスを再定義する」 （本部棟1階ロビー）
10月2～20日	総合図書館オリエンテーション
10月16日 ～11月26日	平成26年度特別展示「総合図書館コレクションへの招待状—世界中から集まった貴重な資料たち—」（総合図書館3階ホール）
10月18～ 26日	企画展示「越境するヒロシマ—ロベルト・ユンクと原爆の記憶」関連資料展（駒場図書館1階展示ロビー）
10月18日	第13回 東京大学ホームカミングデーイベント/新図書館トークイベント10「東大新図書館計画と次世代アーカイブ:東大版ヨーロッパをいかにつくるのか」（総合図書館1階洋雑誌閲覧室）
10月23日	東京大学基金 新図書館計画「アカデミック・コモンズ」特別セミナー「『昭和天皇実録』について」（総合図書館1階洋雑誌閲覧室）
10月24～ 25日	柏キャンパス一般公開（柏図書館） 東大柏ブックレビューLIVE! : 東大生の書評ライブ! 「計算折紙」: 開館10周年記念ワークショップ DVD上映:「柏キャンパス各部局紹介」 図書の展示:「東大生の本棚2014」、「リケ女の本、あります」 「リケジョのMy 研究生活」: パネル展示 「科学史」: 所蔵資料展示（柏市内4大学連携展示）
11月7日	新図書館トークイベント11「東京大学南原繁記念出版賞 第3回受賞者講演会—新しい知の地平を描き出す」（総合図書館1階洋雑誌閲覧室）
11月17～30日	駒場図書館職員自主企画展示「蝶と昆虫少年」（駒場図書館1階展示ロビー）
11月18日 ～1月14日	「雑誌Nature」第4回サイエンスカフェ連動企画 図書展示（柏図書館2階）
11月25日	第4回サイエンスカフェ 「サイエンス2.0と学術コミュニケーションツールの変遷」（柏図書館コミュニティサロン）
12月12日	第16回わくわくミニコンサート（新領域環境棟FSホール）

平成 27 年 1 月 15 日 ～2 月 6 日	「富岡製糸場の技術史」第 5 回サイエンスカフェ連動企画 図書展示（柏図書館 2 階）
1 月 22 日	第 5 回サイエンスカフェ「富岡製糸場の技術史」（柏図書館 2 階エントランス）
1 月 31 日	シンポジウム「むすび、ひらくアジア:アジア研究図書館の構築に向けて」 主催：附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門（福武ホール B2F 福武ラーニングシアター）
1 月 31 日	トマ・ピケティ 東大講義「21 世紀の資本」 主催:附属図書館、大学総合教育研究センター 協力：みすず書房、日経 BP 社 （伊藤国際学術研究センター-B2F 伊藤謝恩ホール ）
2 月 6 日 ～3 月 6 日	「雑誌でたどる戦前・戦中・戦後の科学」第 6 回サイエンスカフェ連動企画 図書展示（柏図書館 2 階）
2 月 9 日 ～5 月 29 日	第 3 回企画展示「雑誌でたどる戦前・戦中・戦後の科学」（柏図書館展示コーナー）
2 月 13 日	第 6 回サイエンスカフェ「雑誌でたどる戦前・戦中・戦後の科学」（柏図書館コミュニティサロン）
2 月 18 日	文学インタビュー第 1 回 高橋源一郎（〈現代作家アーカイブ〉by 飯田橋文学会） 主催：飯田橋文学会、UTCP(東京大学大学院総合文化研究科附属共生のための国際哲学研究センター)、附属図書館（福武ホール B2F 福武ラーニングシアター）
3 月 17 日 ～4 月 17 日	「紙の地図とデジタル地図」第 7 回サイエンスカフェ連動企画 図書展示（柏図書館 2 階）
3 月 17 日 ～（常設）	「日本図大皿」（柏図書館 1 階展示コーナー）
3 月 20 日	新図書館トークイベント 12 「『曖昧さ』について-『ボヴァリー夫人』論』を例として」（総合図書館 1 階洋雑誌閲覧室）
3 月 20 日	第 5 回東京大学南原繁記念出版賞表彰式 第 4 回「東京大学南原繁記念出版賞」贈呈式（総合図書館 1 階洋雑誌閲覧室）
3 月 23 日	第 7 回サイエンスカフェ「紙の地図とデジタル地図」（柏図書館コミュニティサロン）
3 月 23 日	「地図」第 7 回サイエンスカフェ連動企画 図書展示（柏図書館）

## 7.2 平成 26 年度附属図書館会議開催一覧

開催日	会議名称
平成 26 年 4 月 23 日	図書行政商議会（第 414 回）
5 月 8 日	附属図書館連絡会議
5 月 22 日	駒場図書館運営委員会（第 31 回）
5 月 23 日	附属図書館サービス特別委員会（平成 26 年度第 1 回）
6 月 13 日	附属図書館将来計画特別委員会（平成 26 年度第 1 回）
6 月 24 日	附属図書館連絡会議
7 月 10 日	柏図書館運営委員会（平成 26 年度第 1 回）
7 月 11 日	学術情報電子化専門委員会（平成 26 年度第 1 回）
7 月 18 日	附属図書館サービス特別委員会（平成 26 年度第 2 回）
7 月 24 日	図書行政商議会（第 415 回）
7 月 29 日	附属図書館将来計画特別委員会（平成 26 年度第 2 回）
7 月 29 日	附属図書館連絡会議
9 月 18 日	附属図書館将来計画特別委員会（平成 26 年度第 3 回）
9 月 26 日	図書行政商議会（第 416 回）
9 月 30 日	附属図書館連絡会議
10 月 28 日	附属図書館連絡会議
11 月 11 日	附属図書館サービス特別委員会（平成 26 年度第 3 回）
11 月 19 日	図書行政商議会（第 417 回）
11 月 20 日	附属図書館連絡会議
12 月 4 日	駒場図書館運営委員会（第 32 回）
12 月 16 日	附属図書館連絡会議
平成 27 年 1 月 19 日	附属図書館サービス特別委員会（平成 26 年度第 4 回）
1 月 22 日	図書行政商議会（第 418 回）
1 月 27 日	附属図書館連絡会議
2 月 4 日	新領域創成科学研究科及び柏図書館の連携協議会
2 月 13 日	附属図書館運営委員会（平成 26 年度第 1 回）
2 月 24 日	附属図書館連絡会議
3 月 13 日	図書行政商議会（第 419 回）
3 月 12 日	駒場図書館運営委員会（第 33 回）

3月16日	柏図書館運営委員会（平成26年度第2回）
3月17日	附属図書館連絡会議
3月23日	附属図書館サービス特別委員会（平成26年度第5回）

# 全図書館・室統計

## 1. 職員数、蔵書数、利用統計

平成27年9月31日現在

図書館名	職員数		蔵書数				資料費		受入資料数				相互利用							
	常勤 (人)	非常勤 (人)	和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)	和文 (種)	欧文 (種)	合計 (種)	和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)	和文 (種)	欧文 (種)	合計 (種)	館外貸出 (冊)	受付 (件)	依頼 (件)			
大学院法政学研究所・法学部図書室	12	6	272,451	509,744	782,195	2,221	3,736	5,957	70,907	5,352	10,517	15,869	4,735	742	1,033	1,775	1,245	0	549	292
近代日本法政史料センター	1	4	61,839	819	62,658	7,797	0	7,797	86	82	2	84	0	169	0	169	1	0	431	0
医学図書館	10	5	109,073	165,651	274,724	2,401	2,002	4,403	22,984	2,049	285	2,334	1,003	643	236	884	438	16,513	7,346	1,457
工学・情報理工学図書館	12	16	160,780	239,931	400,711	4,298	3,519	7,817	16,603	1,989	3,976	2,730	996	621	1,617	1,047	35,316	688	249	
大学院人文社会科学系研究所・文学部図書室	6	17	539,080	573,140	1,112,220	9,248	4,541	13,789	62,732	7,760	4,159	11,919	4,617	503	969	1,472	1,142	14,854	894	734
大学院理学系研究所・理学部図書室	5	10	42,175	190,656	232,831	1,440	3,241	4,681	17,104	735	1,455	2,190	498	355	377	732	344	8,961	411	189
農学生命科学図書館	10	4	248,009	169,530	417,539	7,046	5,358	12,404	50,012	6,546	1,079	7,625	927	1,435	1,112	2,547	1,148	16,818	4,043	249
経済学部図書館	11	9	503,304	327,941	831,245	11,237	4,693	15,930	30,523	7,625	1,699	9,324	2,388	662	455	1,117	544	21,954	419	60
駒場図書館・大学院総合文化研究科図書館・自然科学図書室	15	24	571,638	523,086	1,094,724	2,545	4,240	6,785	48,357	10,940	4,182	15,122	6,885	699	1,042	1,741	1,386	175,932	849	1,153
グローバル地域研究機構	1	2	8,409	67,427	75,836	144	1,094	1,238	3,420	663	1,307	1,970	263	64	66	130	64	1,717	0	0
大学院教育学研究所・教育学部図書室	3	4	88,871	66,658	155,529	3,045	1,087	4,132	10,249	3,176	1,747	4,923	869	591	224	815	383	15,607	1,043	571
薬学図書館	2	1	11,658	32,982	44,640	379	464	843	9,603	311	603	914	181	101	50	151	60	2,445	480	93
大学院数理科学研究科図書室	2	3	16,134	131,807	147,941	132	1,593	1,725	33,331	665	2,002	2,667	730	26	549	575	357	8,794	207	7
大学院情報学環・学際情報学部図書室	2	2	70,661	54,740	125,401	1,390	1,364	2,754	1,967	908	264	1,172	788	179	88	267	152	5,524	1,367	506
社会情報研究資料センター	0	4	13,615	5,058	18,673	0	0	0	3,265	354	96	450	150	0	0	0	0	0	0	0
医学研究所図書室	2	1	4,329	37,763	42,092	325	876	1,201	1,116	40	147	187	186	19	25	44	17	94	230	369
地震研究所図書室	2	1	21,161	35,199	56,360	1,199	1,250	2,449	2,038	964	996	1,960	77	245	143	388	107	806	147	10
東洋文化研究所図書室	5	5	497,696	186,866	684,562	2,700	7,179	9,879	9,371	2,275	1,828	4,103	2,481	429	732	1,161	537	195	487	40
社会科学研究所図書室	8	0	205,895	140,374	346,269	5,092	2,216	7,308	12,482	2,148	1,264	3,412	1,068	825	358	1,183	606	9,246	209	10
生産技術研究所図書室	2	0	58,882	94,658	153,540	978	1,536	2,514	791	100	99	199	137	347	151	498	28	1,081	60	96
史料編纂所図書室	6	10	516,829	15,736	532,565	2,752	290	3,042	5,807	3,300	157	3,457	656	1,348	38	1,386	104	0	179	22
宇宙線研究所図書室	0	1	975	23,282	24,257	21	214	235	7,394	3	56	61	61	12	62	74	70	126	24	4
物性研究所図書室	2	1	6,753	58,332	65,085	94	635	729	8,780	255	801	1,056	450	35	34	69	58	4,166	123	6
大気海洋研究所図書室	1	3	21,926	36,221	58,147	1,633	1,198	2,831	3,495	348	531	879	135	422	267	669	101	599	214	46
総合研究博物館図書室	0	1	6,890	2,217	9,107	705	275	980	0	336	18	354	0	261	70	331	0	33	0	7
先端科学技術研究センター図書室	1	2	16,876	30,437	47,313	80	414	494	2,452	184	21	205	195	16	8	24	17	1,231	19	48
部局図書館(室) 計	121	134	4,074,909	3,720,255	7,795,164	68,902	53,015	121,917	434,889	59,106	37,306	96,412	32,210	11,129	8,710	19,839	9,956	342,012	20,419	6,218
総合図書館	39	15	818,339	432,347	1,250,686	11,835	9,685	21,520	1,286,480	10,394	6,452	16,846	9,574	2,599	527	3,126	265	122,374	2,370	152
柏園図書館	5	1	115,427	289,532	404,959	7,100	15,861	22,961	16,795	5,348	6,533	11,881	1,694	10	19	29	16	32,681	956	56
総計	165	150	5,008,675	4,442,134	9,450,809	87,837	78,561	166,398	1,748,144	74,848	50,291	125,139	43,478	13,738	9,256	22,994	10,237	497,067	23,745	6,426

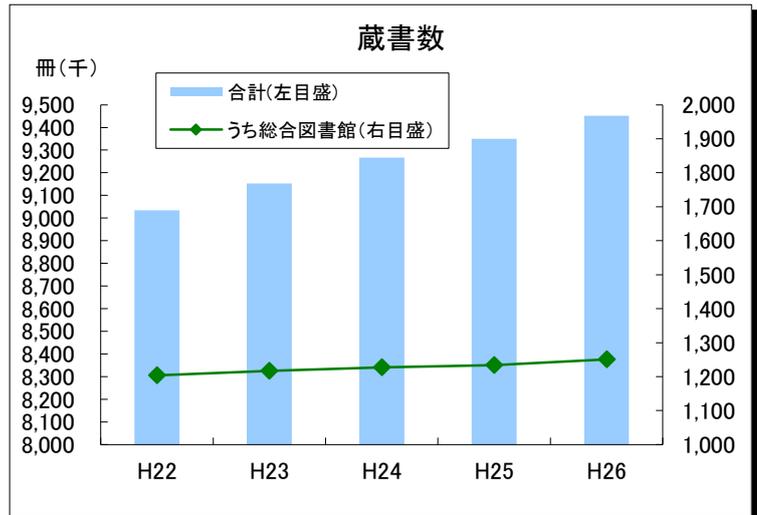
(社)日本図書館協会図書館調査より  
(非常勤職員数は附属図書館職員名簿より・平成27年4月21日現在)

## 2. 経年変化

### 2.1 蔵書数

	合計	うち総合図書館
平成22年度	9,034,097	1,204,232
平成23年度	9,152,570	1,217,169
平成24年度	9,266,963	1,227,736
平成25年度	9,350,046	1,234,185
平成26年度	9,450,809	1,250,686

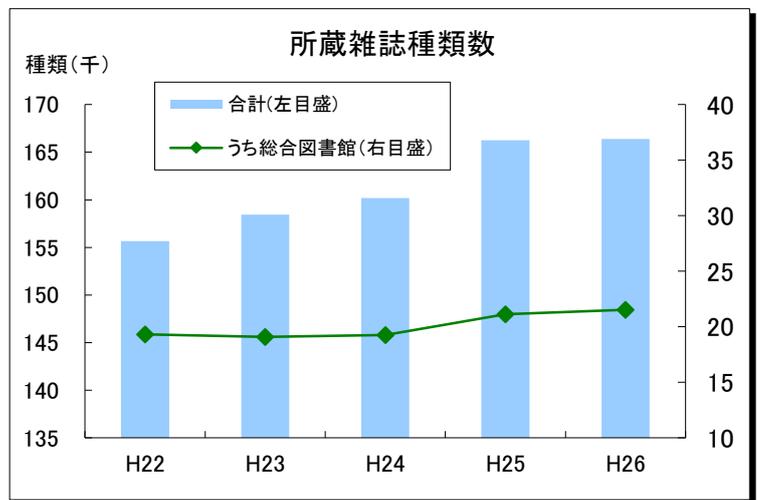
(単位:冊)



### 2.2 所蔵雑誌種類数

	合計	うち総合図書館
平成22年度	155,665	19,319
平成23年度	158,441	19,096
平成24年度	160,184	19,259
平成25年度	166,258	21,124
平成26年度	166,398	21,520

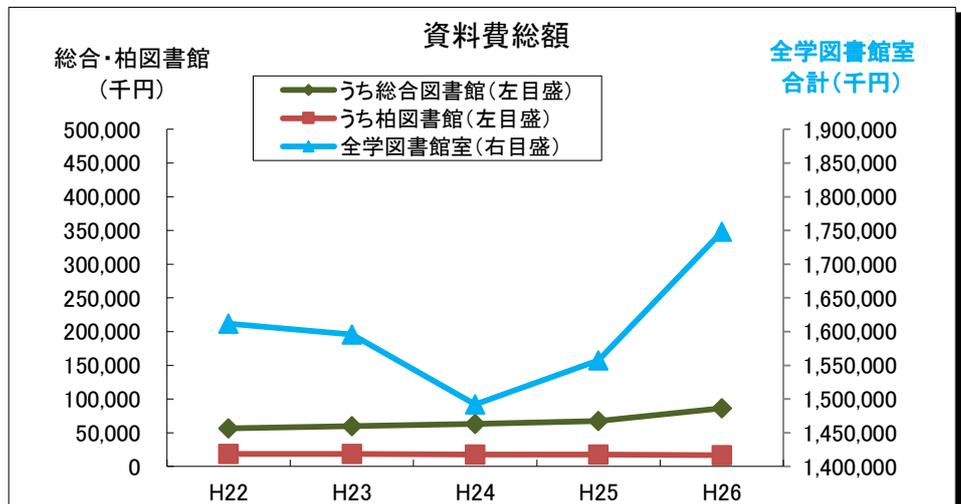
(単位:種類)



### 2.3 資料費総額

	合計	うち総合図書館	うち柏図書館
平成22年度	1,611,786	56,365	18,592
平成23年度	1,595,579	59,973	18,522
平成24年度	1,492,120	63,286	17,507
平成25年度	1,557,426	67,386	17,517
平成26年度	1,748,144	86,234	16,795

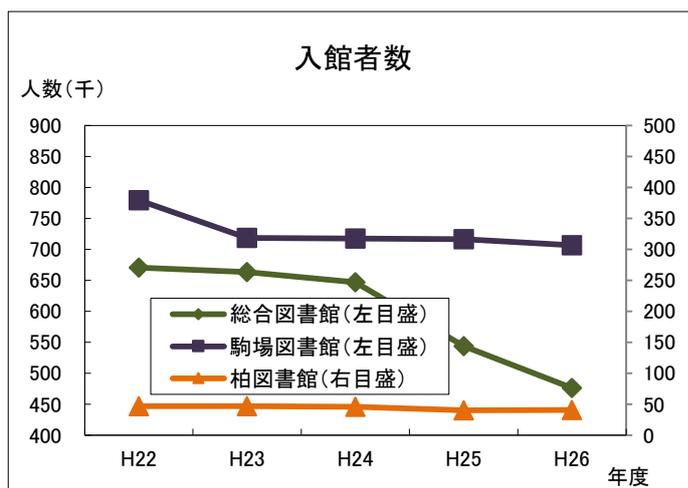
※総合図書館分は全学共通経費を除いた額を計上(単位:千円)



## 2.4 入館者数（延人数）

	総合図書館	駒場図書館	柏図書館
平成22年度	670,768	779,188	46,982
平成23年度	663,288	718,551	47,130
平成24年度	646,679	717,568	46,015
平成25年度	543,942	716,671	39,947
平成26年度	476,316	706,567	40,905

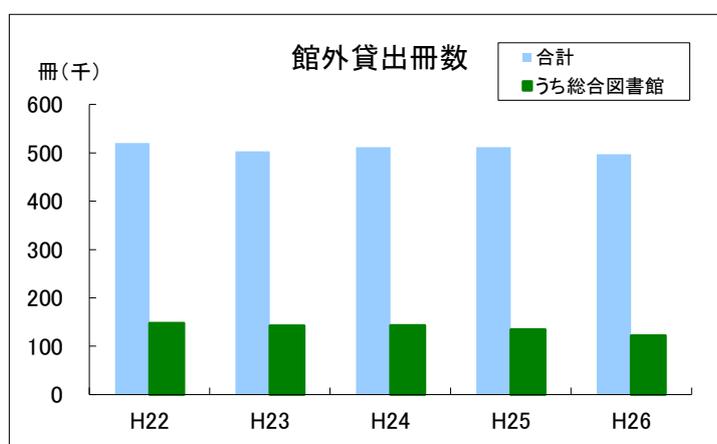
\*平成22年度は3月に東日本大震災があったため、一時閉館した。（単位：人）



## 2.5 館外貸出冊数

	合計	うち総合図書館
平成22年度	520,520	147,650
平成23年度	503,489	142,534
平成24年度	511,905	142,905
平成25年度	511,674	134,771
平成26年度	497,067	122,374

\*平成22年度は3月に東日本大震災があったため、一時閉館した。（単位：冊）

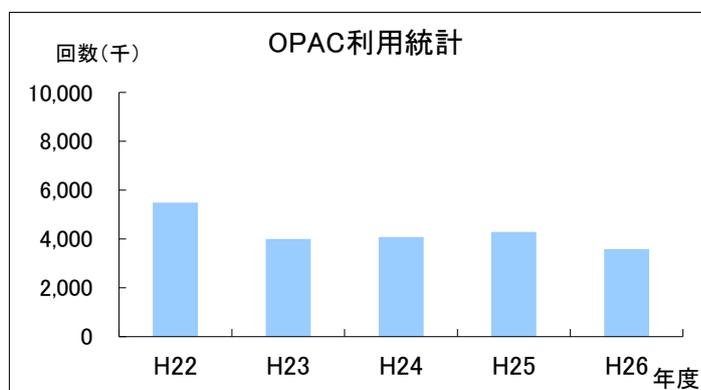


## 2.6 東京大学 OPAC 利用統計

(検索実行回数)

	OPAC
平成22年度	5,494,212
平成23年度	4,003,803
平成24年度	4,075,994
平成25年度	4,282,787
平成26年度	3,579,138

(単位：回)

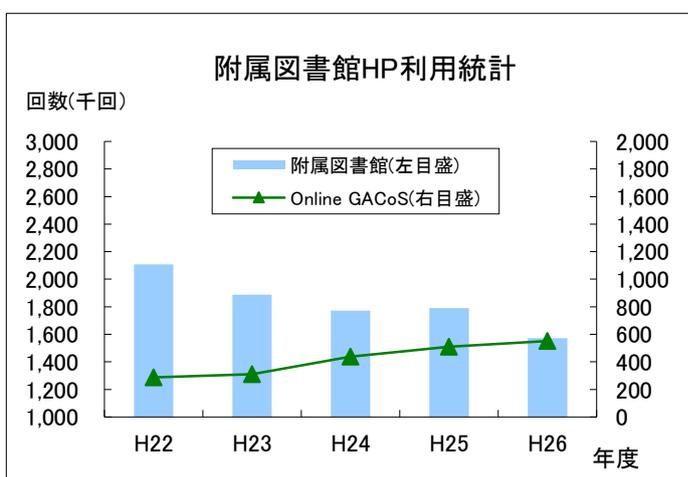


## 2.7 附属図書館ホームページ利用統計

(アクセス回数)

	附属図書館	Online GACoS*
平成22年度	2,106,998	286,533
平成23年度	1,888,282	311,156
平成24年度	1,772,462	438,921
平成25年度	1,790,795	508,720
平成26年度	1,572,633	550,968

(単位：回)

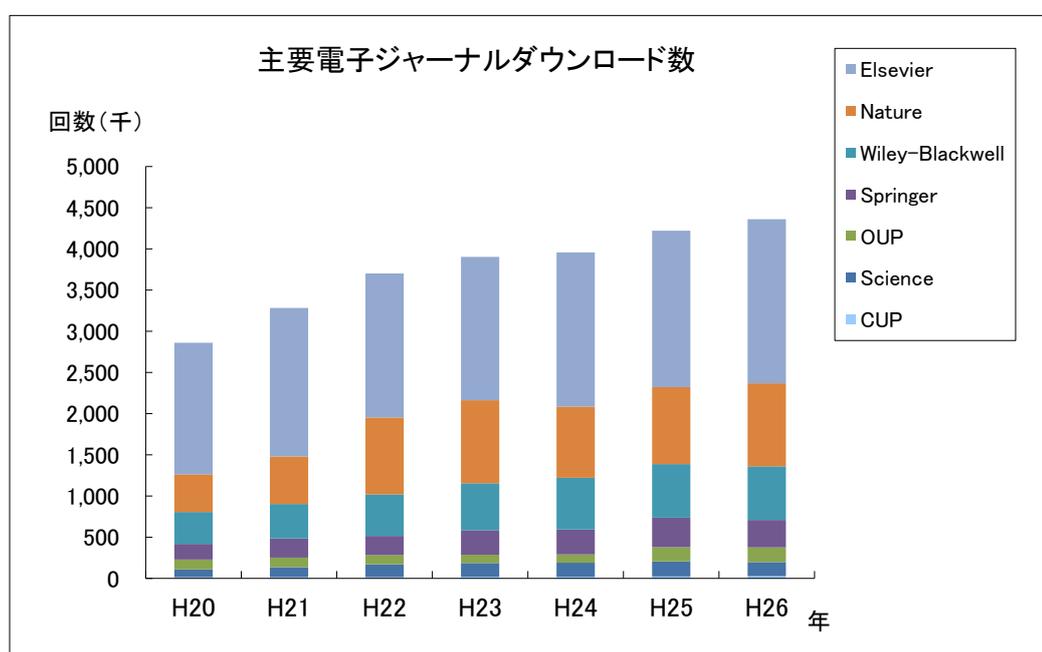


\* GACoS ; Gateway to Academic Contents System

## 2.8 電子ジャーナルダウンロード数

	CUP	Science	OUP	Springer	Wiley-Blackwell	Nature	Elsevier
平成20年	15,423	94,910	118,833	189,441	387,199	459,582	1,593,749
平成21年	18,624	119,183	117,045	229,127	421,090	574,910	1,803,173
平成22年	17,099	156,677	109,335	234,091	504,531	933,414	1,745,480
平成23年	20,333	165,814	102,586	297,638	568,980	1,006,459	1,740,651
平成24年	22,672	169,543	101,256	302,375	627,020	863,822	1,870,426
平成25年	24,081	183,682	172,956	358,471	649,561	933,812	1,896,544
平成26年	27,873	173,046	175,586	334,155	652,581	1,006,529	1,988,641

(単位:回)



## 東京大学附属図書館

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

電話 03-5841-2612, 2613 (総務課企画渉外係)

Fax 03-5841-2636

<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp>